

B—40

衣服形成の科学的研究と教授法の実際

(第1報)

スカートのカットと補正

女子美術短大

杉井あつみ

1. 衣服形成を通じて個性を自由に表現できる素地を与え創作力と科学的思考力を養う。

2. 下半身の体形を理解させるために下半身を垂直水平の線で囲む（具体的には紙を腰囲寸法に筒形として人台に穿かせる）。腹部、脇、臀部の起伏の度合を垂直線との比較において理解させ、体形の個人差についても考察を試みる。

つぎに上記の三つの各部の高さに相当した体との離れをつまみ、腰囲より腹囲までを体に合わせて行く。このつまみ分は各部の高さに相当した正確な分量であることが最も美しく合わされたスカートの不可欠の条件であるので、指導上この点が特に重要視されねばならない。

そこで腰囲線上において前中心から後中心までを3等分し、各その位置に腹囲線まで垂直線を立て、つまみ分量の正確度を初心者にも適確に把握られるように実施して見た。製図は割出しにより一応ダーツ分量を決め、上述の3等分の垂線を記し裁断の際も縫い標をする。試着の際この線が体の面に沿い垂直に落ちつくならば各部のつまみ分量は適確であったといえるし、傾くならば正せばよい。

3. 困難とされる補正の技術も科学的思考に基づく指導によれば理解も早く、応用力と強い自信と喜びとがえられる。